

## イギリスボランティアプログラム参加者レポート

参加予定期間	2010年4月～2011年4月 12ヶ月予定
--------	------------------------

このレポートをご記入いただいたのは活動を始めてから約(9)ヶ月頃

### プログラムの参加動機

海外でのボランティア活動に興味を持っていたため。英語カブラッシュアップのため。
---

### ボランティア活動先に関して

施設名	Arnold House
種類	障害者入居施設
活動先 紹介	身体障害者21名のレジデンシャルホーム。デイケアの扱い無し。 スタッフ、約40名。フルタイムボランティア、2名(日本人)。
活動内容	勤務時間8.30～16.00(土日、バンクホリデーは休み) 朝昼食の配膳、飲み物の準備、アクティビティー補助を中心に行う。 食事の介助や入浴などは行わない。
感想	

### 滞在先に関して

形態	住み込み(個室+共用LDK+共用バストイレ)
同居人	日本人
設備	テレビ、洗濯機、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、インターネット環境(無線LAN×)

### 食事に関して

形態	夜のみ自炊(食材は施設から支給)
感想	昼食のメニュー: ローストチキン、ジャケットポテト、フィッシュアンドチップス等。日替わりの2種類のメニューから1つを選ぶ。デザート有り。 味◎、量◎(多すぎるくらい)

### 町の様子をご紹介ください。

ロンドンからの距離と交通手段	Zone 5 地下鉄とバスを乗り継ぎ1時間～1時間半程度。
住んでいる町の様子	ちょっと田舎のショッピングタウン。店は早く閉まる(平日は5時半くらい)。各種スーパーマーケット有り。木金土に

	マーケットが開かれる。
--	-------------

その他

ネット環境	図書館◎（週に3日20時まで開いている日有り）ネットカフェ×
-------	--------------------------------

その他、今後の参加者に何かアドバイスがあればご記入下さい。又、ご自身が撮られた英国でのお写真など（派遣先、英国の風景、何でも結構です！）お貼り頂き、写真の説明文も加えて下さい。

レジデントにとってもスタッフにとってもボランティアは大切な人材なので、温かく迎えてもらえるはずです。困ったことがあればすぐに責任者に相談して解決して下さい。GECも頼もしくサポートしてくれます。柔軟な姿勢で臨み、違いを楽しむことができれば充実した滞在になるでしょう。

英語がある程度理解できれば活動には支障が無いと思われます。ただ、ブラッシュアップを期待するなら、積極的に会話に参加する必要があると強く感じます。わたしの活動する環境には日本人以外の長期滞在ボランティアがいないため、手の空いているスタッフやレジデントを先生に会話を楽しんでいます。遠慮をしては損だと気づくまでには時間を要しました。

最後に、あなたのことをお知らせ下さい。

お名前（イニシャル、ニックネーム可）	tamaya	女性
年齢	30代	

※ご協力有難うございました。今後の参考にさせていただきます。